

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
41	農林水産課	果樹産地総合振興事業	果樹生産農業者等	本市の特産品の「桃」については、飯南地区桃部会における奨励8品種のうち消費者ニーズや作型の分散の観点から「日川白鳳」「加納岩白鳳」「あかつき」「なつおとめ」「はなよめ」を中心に作付け拡大に努めており、高品質生産及び極早生品種の導入による、他産地で出荷のない時期に出荷することで、市場における優位販売を行い、強い産地の確立を目指すことを目的とする。	同左	1,999	2,000	2,000	1,875	桃の秀品率向上 優良種苗の導入による生産性向上及び高品質作物の生産を行う。 H23年度からNo.41を統合
42	農林水産課	農業経営基盤強化資金利子助成補給金	認定農業者	経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体を育成・支援するため、認定農業者のうち、農業経営基盤強化資金等の貸付金を借り入れた者で、県があらかじめ承認したものについて、予算の範囲内で利子助成金の交付を行うことを目的とする。	同左	134	221	211	256	低利な制度資金を活用することにより計画的な資金管理と経営の安定を図る。
43	農林水産課	認定農業者等農地集積支援事業	認定農業者等	本市の農業の担い手となる認定農業者等が行う農地の集積に対し、助成金を交付することにより、農地の流動化を促進し、利用権等の集積を通じて農業の担い手の育成・確保及び農地の有効利用を図り、もって地域農業の振興と農業構造の改善に資することを目的とする。平成21年度では34名の認定農業者等に対し助成金を支出している。	同左	2,398	1,677	2,100	2,050	認定農業者への農地集積率 H23:9% H24:9.5% H25:10%

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
44	農林水産課	農業経営研究活動事業	丸亀市農業経営者協議会	自立経営志向農家の経営向上のため、自主的な学習等を推進することで、農業経営の健全な発展と、長期的安定を図り、農業経営者としての社会的地位及び経営基盤の確立に資することを目的とし、平成21年度においては、総会・役員会をはじめ、各部会での学習会を行い、栽培技術の向上や経営感覚を磨いている。	農業経営、農政に関する学習会等への参加、農業法人等の設立に向けた学習会等の開催	450	450	450	400	農業経営者協議会の活動が活発化することで、様々な点において市内農業全体の活性化、振興に繋がる
45	農林水産課	園芸かがわ産地構造改革総合対策事業	市内農業者等	アスパラガスについては「さめきのめざめ」の導入により、一層の規模拡大や定年帰農者の新規参入等により生産者の増大がある。また、魅力あるアスパラガスづくりを推進することにより、若者等の新規就農者を誘導することで、認定農業者等自立経営を目指す農業者の育成が図られ、産地の中核となる担い手の育成・確保を図ることにより地域農業の活性化と産地の強化を図ることを目的とする。	同左	9,496	8,969	37,787	11,357	アスパラガス作付面積の拡大
46	農林水産課	園芸地産地消費推進対策事業	市内農業者等	高品質で安定的な農作物の生産が行え、農産物の生産出荷に寄与しながら生産の充実を図り、産地直売所への安定出荷を行い農業所得の向上を目指すと共に、消費者に安価で新鮮な農作物の供給を図ることで、地産地消の推進を図る。	同左	893	174	0	120	【産地直売所への出荷用作付面積】 H23: 14.3ha H24: 14.5ha H25: 14.7ha (作物が多種に亘るため菊を参考)

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
47	農林水産課	園芸産地づくり強化対策事業	市内農業者等	園芸全般において、産地としての確立は生産性の向上だけでなく、市場における優位販売等の効果が期待でき、主要品目の産地づくりを推進することを目的としている。近年では、塩飽諸島で作付けされている「香川本鷹」の栽培管理機器の導入や、出荷調整段階での乾燥機の導入を行っている。	同左	516	378	0	100	香川本鷹作付面積 H23:25a H24:26a H25:27a
48	農林水産課	肉用牛産地育成事業	香川県農協丸亀地区肉牛研究会	肉牛肥育農家相互扶助と共同の精神に基づき、丸亀地区内肉牛肥育事業の振興並びに販売面の統一拡張改善を図り、農家経営の発展と経済的社会的地位の向上を期することを目的とし、平成21年度については、総会・役員会を併せて5回、神戸西部市場において共励会の開催、県共進会への参加、講習会への参加等の活動を行い、肥育技術の向上と会員相互の意思統一を図っている。	肉牛肥育技術及び経営に関する研究調査連絡事項、肉用素牛の導入に関する事項、共同販売と飼料等共同購入に関する事項等	400	400	400	360	共励会や学習会の開催や研修会を行うことにより、肉用牛の経営管理能力の向上を図り、経営の安定を図る。
49	農林水産課	有害鳥獣駆除事業	猟友会丸亀支部 猟友会綾歌支部 飯山地区有害鳥獣対策協議会	有害鳥獣による水稲、野菜及び果樹園等の被害を食い止めるため、害鳥等の捕獲及び駆除を目的とする。	有害鳥獣の駆除 平成21年度では、主なところで、カラス692羽、カワウ593羽、イノシシ38頭、ヌートリア87頭などの捕獲実績があり、農作物等への被害軽減が図られている。	524	524	524	530	有害鳥獣の駆除を行うことで、農作物等への被害を軽減すると共に、生態系の維持管理に努める。

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
50	農林水産課	ふれあい農業学習体験事業補助金	香川県農業協同組合	地域の人達に農業を理解してもらうため、家庭菜園などの農業体験を通じて野菜作りの楽しさや収穫の喜びを味わい、「農業のふれあい活動を密にする」とともに、新規就農への呼び水となることを目的とする。	「丸亀アグリ塾」運営 H21「丸亀アグリ塾」塾生夏野菜コース11名、秋冬野菜コース14名、年間コース22名	0	89	0	150	「丸亀アグリ塾」夏野菜コース、秋冬野菜コースの年2回開催 H23年度から「丸亀アグリ塾」休止に伴ない新しい事業者を検討中
51	農林水産課	中山間地域等直接支払制度推進事業交付金	大原地区、(牛島地区:H22より実施しない)	農業生産条件の不利な指定地域で、今後とも農業生産活動を継続することを市と協定を結び実施する集落に対し交付金を交付する国の制度に基づく事業を実施する集落の農業振興を図る。	樹園地耕作放棄の防止、農地の法面管理、鳥獣害防止活動、農道の管理	2,638	2,638	724	1,095	適正な耕作放棄の防止の活動、農地の法面管理、鳥獣害防止活動、水路・農道の管理
52	農林水産課	栗熊東生産森林組合運営補助金	栗熊東生産森林組合	組合員共同による森林経営等及びこれらに付帯する事業を行うことで、組合員の経済的社会的地位の向上を図る。栗熊東生産森林組合は、丸亀市綾歌町栗熊東及び綾川町羽床下に35haの山林を所有し、自力で森林管理、森林保育(植林、下刈り、除間伐等)を行っており、優良材の生産を目指している。これら森林管理、施業は山林の持つ水源の涵養機能、山地災害防止機能等の多面的な公益的機能の発揮につながる。	平成22年度は、植林・間伐の予定は無く、これまで植林してきたヒノキ、ケヤキ等の枝打ち作業を重点的に行なう。また、県道綾歌綾川線沿いに植林をした桜の木の下刈りを行なう。その他、昨年同様自然環境整備、林道保全に努め、みんなに親しまれる健全な山林を目指して保全活動に務める。	250	250	250	250	森林の公益的機能の増進が図られる

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
53	農林水産課	単独県費造林事業補助金	森林所有者等	林業の振興を図るため、市長が適当と認める者が行なう事業並びに香川県単独県費造林補助事業実施要領に基づき、森林所有者が行なう造林事業(整理伐・人工造林・下刈・除間伐・枝打・その他林業必要と認められる事業)に要する経費に対し、市が予算の範囲内において交付する。森林の公益的機能(水源涵養・土砂災害防止・二酸化炭素の吸収等)の増進が図られる。	同左	68	0	42	144	山林の持つ水源の涵養機能や、山地災害防止機能等の多面的な公益的機能の増進
54	農林水産課	丸亀地区水産振興対策協議会運営補助金	丸亀地区水産振興対策協議会	丸亀市における漁業の構造改善・漁業経営の近代化を図り、漁業者及び漁業従事者の所得の向上と生活の安定を図ることを目的とする。丸亀市漁協、本島漁協の役員で構成(10名) 事務局:丸亀市農林水産課	丸亀市沿岸及び島諸部周辺へアйнаメ・クルマエビ・メバル・ヒラメの稚仔放流(事業費約580万円)と海面清掃(事業費約80万円)を行なった。	500	500	500	500	漁業経営の共同化等、経営の近代化
55	農林水産課	丸亀市淡水漁業組合運営補助金	丸亀市淡水漁業組合	丸亀市における内水面漁業構造の改善、漁業経営の近代化を図り、漁業の生産力を強化して、漁業者及び漁業従事者の所得の向上と生活の安定を図ることを目的とする。幼稚園・保育所・小学校の環境学習に資するための協力、各種クリーン活動・ボランティア活動・イベント等に参加。河川環境の保全・再生を積極的に推進するとともに、市民の河川愛護の意識の醸成を図る。	丸亀市内の河川(土器川・金倉川)へドジョウ、フナ、モクスガニ等の放流を行なう。	150	150	150	150	漁業の生産力を強化し、漁業者等の所得向上と生活の安定が図られる

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
56	農林水産課	重要稚仔放流事業(海面)補助金 市単事業	丸亀市漁業協同組合	目的:水産資源の繁殖保護及び漁家経営の安定と所得の向上を図る。 現状:放流魚種はクルマエビで、過去5年の推移を見ると、丸亀市におけるクルマエビの漁獲量は横ばいである。しかし、漁獲されているクルマエビに天然のものは少なく、大部分が放流されたものであることから、当放流事業の効果が現れていると判断できる。	同左	400	400	400	400	安定した漁獲量の確保
57	農林水産課	重要稚仔放流事業(海面)補助金 県単事業	丸亀地区水産振興対策協議会	目的:水産資源の繁殖保護及び漁家経営の安定と所得の向上を図る。 現状:放流魚種であるアイナメ・クルマエビの漁獲量はおおむね横ばいであり、放流事業によって安定した漁獲量が確保されていると考えられる。	同左	3,000	3,000	3,000	3,000	安定した漁獲量の確保
58	農林水産課	海面清掃事業補助金	丸亀地区水産振興対策協議会	漁業者の小型底曳及び縦網・樹網その他の漁業操業の安全確保を図るため、海面に浮遊したり海浜の打ち上げられたビニル等の廃棄物を回収し、きれいな海を取り戻すことを目的とする。	同左	384	400	400	400	船舶の航行安全と環境保全が図られる
59	農林水産課	漁場汚染防止事業補助金	中讃海域漁場環境整備協議会	中讃海域の漁場に漂流するビン・プラスチック類、木片、ゴミ等の廃棄物を回収・処理を行う。漁場を漂流する各種廃棄物を除去することにより、漁場環境の維持と水産資源の安全を図るとともに操業の安全を確保する。	同左	300	300	300	300	船舶の航行安全と環境保全が図られる

■補助金現況等調査

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
60	農林水産課	漁業近代化資金 利子補給金	丸亀市漁協、 本島漁協の各 組合員15名	漁業の構造改善・漁場経営の近代化を図り、漁業者及び漁業従事者の所得の向上と生活の安定を図ることを目的とする。効率的かつ安定的な漁業経営の育成のための漁業経営基盤の強化、人材の育成及び確保の推進、水産加工業の健全な発展、水産業の基盤の整備等が図られる。	—	638	458	176	750	漁業者等の資本装備の高度化及び経営の近代化が図られる
61	農林水産課	緊急支援資金 利子補給金	丸亀市漁協、 本島漁協の各 組合員11名	国の緊急経済対策に伴い、資金繰りに窮(きゅう)している中小漁業者を対象に、債務の整理等促進し、中・長期的経営資金を供給することで、漁業活動の維持増進と活性化を支援することを目的とした利子補給制度。	同左 (H22新規事業)	0	0	65	80	漁業活動の維持増進と活性化
62	農林水産課	ノリ養殖経営 強化対策資金 利子補給金	丸亀市漁協の 組合員 1名	ノリ養殖業の着業・運転に必要な資金の融資を行う機関に対し、利子補給金を交付することにより、ノリ養殖業を継続して行える経営の環境と安定を図るものである。	同左	3	2	0	10	ノリ養殖業経営の維持安定を図る
63	農林水産課	漁船漁具保全 施設設置事業 補助金	市内2漁業協 同組合	丸亀市の水産業の振興を図るため、市内の漁業協同組合が行なう事業に対し、県・市が補助金を交付する。	小手島地区の船舶上架用台車2基のうち1基は、塩害や風雨等による老朽化で現在使用不可能な状態であるため、平成22年度、1基を更新し、漁業作業の効率化と安全性を確保、施設の継続的な活用を図る。	3,108	3,150	2,252	0	漁船漁具施設の適正管理による水産業の振興

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
64	農林水産課	漁業新技術実証事業補助金	本島漁業協同組合	水産業振興を図るため、市内の漁業協同組合が行なう事業に対し、県・市が補助金を交付。本島漁協婦人部が調理販売している『タイラギ貝ヒモの佃煮』は、平成19年度かがわ県産品コンクールの販路拡大チャレンジ部門にて優秀賞を受賞。	これまで課題であった短期間で風味が落ち変色してしまうことは、平成21年度に県・市補助金を活用し真空包装機を購入したことにより、長期間品質が保持でき商品の安全性を確保。平成22年度は、引続き研究開発を進めながら、販売拡大のためパッケージのデザイン考案やイベント時の幟等の製作を行った。	0	350	140	0	地場産品の消費拡大
65	農林水産課	農地・水・環境保全向上対策 ↓ 農地・水保全管理支払交付金	中讃地域協議会	農村地域の農地や農業用水などの農業生産に欠かせない資源は、高齢化、混住化などが進み、集落のまとまりが弱っていくなかで、その適切な保全・管理が困難になっている地域が増えている。この制度は、農業生産の基盤となる農地や農業用水をはじめ農村の環境や美しい景観を、農業者のみならず地域ぐるみで守り支えていく活動を支援する制度で、平成19年度から平成23年度まで実施するものである。	農用地、開水路、ため池、農道において、機能診断、井出ざらえ、草刈及び景観作物の植付等	11,209	12,356	12,316	12,386	第1次計画：平成23年度完了 第2次計画(未決定)：平成24年度～平成28年度 H23年度から名称の変更
66	農林水産課	農業土木振興事業	土地改良団体連絡協議会等	丸亀市内の土地改良事業を行う団体相互の連絡協調により、土地改良事業の円滑な推進を図る	単独県費補助土地改良事業等各種申請業務、事業実施に伴う講習会、目的達成に必要な事項	4,100	4,200	4,500	4,800	丸亀市土地改良区、綾歌土地改良団体連絡協議会及び飯山土地改良団体連絡協議会に従事する事務員の賃金補助

■補助金現況等調書

番号	担当課	名称	交付先	補助目的	事業内容	補助金額(千円)				成果目標
						H20	H21	H22	H23	
67	農林水産課	農業基盤整備(道路・圃場整備)借入金補助金	綾歌・飯山町土地改良事業団体連絡協議会	ほ場整備や農道建設に伴う自己負担分に対する個人の借入金の返済分を公費で負担する制度である。これは、旧飯山、旧綾歌町で実施されていた補助金であり、合併前に廃止されていたが、借入残高の返済分だけが補助金として残っている。	補助対象となる債務残高には、多年度にわたる債務負担決定が行われており、議決を経た政策的な支出という位置づけになっている。	26,251	17,557	11,617	7,207	平成26年度完了
68	農林水産課	単独県費補助土地改良事業	丸亀市土地改良区他	土地改良区等が行う土地改良事業に対し、施設の進捗および農家の負担軽減等を考慮するため	県及び市が土地改良区等規則で定める団体が行う土地改良事業に対して、毎年度予算の範囲内で補助金を交付する。	50,683	46,650	54,778	50,000	各土地改良区等の費用負担の軽減
69	農林水産課	単独市費補助土地改良事業	丸亀市土地改良区他	土地改良区等が行う簡易な土地改良事業に対し、施設の進捗および農家の負担軽減等を考慮するため	市が土地改良区等規則で定める団体が行う土地改良事業に対して、毎年度予算の範囲内で補助金を交付する。	6,027	4,371	4,796	5,000	各土地改良区等の費用負担の軽減
70	農林水産課	土地改良施設維持管理適正化事業補助金	丸亀市土地改良区他	土地改良施設管理者の管理意識の高揚を図るとともに、土地改良施設の機能の保持と耐用年数の確保に資するため	土地改良施設の整備補修費用の30%を拠出金として5年間均等に水土里ネット県土連を通じて水土里ネット全土連に拠出し、水土里ネット全土連は、国30%、県30%の補助金を併せた90%を適正化事業資金とします。事業主体である土地改良区等は、拠出期間内の定められた年度に施設の整備補修を実施し、その必要な事業費の90%が適正化事業資金から交付され、残り10%が自己負担となります。市は15%を補助金として支出している。	5,094	3,310	2,859	2,859	各土地改良区等の費用負担の軽減